



2012年7月24日

マシンタイムを大幅短縮
電子鳩目穴かがりミシン <ジーンズ・綿パンツ仕様>

「MEB-3810シリーズ」を新発売



JUKIは、ジーンズ・綿パンツの鳩目穴かがりを行う、新型の電子鳩目穴かがりミシン「MEB-3810シリーズ」を8月1日より発売します。当機は、かがり縫いの縫製スピードを前機種比約12%向上させたことに加え、穴開けカット(布切り)方法などの改善により、マシンタイムを約22%短縮しましたので、生産性を大幅に向上させることができます。

鳩目穴かがりミシンは、ボタン穴のかがり縫いと、穴開けカット(布切り)を自動で行うミシンです。当機は、ジーンズや綿パンツなど、厚地ズボンに特化した専用のミシンとして、様々な改良を加え、生産性を向上させました。

穴開けカット(布切り)は、従来はモーター駆動式でしたが、エアー駆動式に改良したことによりカット速度が向上しました。また、LEDライトの採用や布メス位置をオペレーター側に移動させたことなどにより、針落ち周りの視認性が改良され、作業性を向上させることができます。また、開閉式ボトムカバーを採用しましたので、ミシンを起こすことなく日常メンテナンス(糸通し、下糸調整、清掃など)が行えます。

当社は、生産性向上が重要視されている国々をはじめとして世界中で、マシンタイムを大幅に短縮でき、生産性と安定した縫製品質を提供する当機で販売を拡大していきます。

◆特長

●生産性向上

- 当機は、最高縫い速度2, 500 sti/minと布切りメスのスピードアップによりマシンタイムを約22%短縮しました。
- 小型ACサーボモーターによるダイレクトドライブ駆動の採用で、応答性が向上し、騒音・振動を低減します。布切りメスはエア方式を採用。応答性が増し、動作スピードが速くなります。

●作業・操作性の向上

- ミシン頭部のアーム面部は突出を抑え、さらに布糸切りメス位置を従来よりもオペレーター側に設置したことにより、素材セット時の視認性が高まり作業性が向上します。
- 生地セット面をフラット化しました(総合糸切り仕様)。布セットが容易になり作業性が向上します。
- 頭部アゴ下にLEDライトを標準装備しました。針落ち周りが明るく見やすくなり作業性が向上します。
- 開閉式ボトムカバーを採用しました。ミシンを起こすことなく日常メンテナンス(糸通し、下糸調整、清掃など)が行えます。

●品質向上

- JUKI独自のアクティブテンション機構を採用し、1針毎のテンションを電子制御することで優れた縫い品質を実現しました。縫いを改良し目飛びを防止すると共に糸締りが向上します。
- 糸切りは、総合糸切り・針糸切りの2仕様を準備。総合糸切りは、糸切りミスが無く糸切り時間も短く生産性を重視した新設計です。縫い長さ変更による糸切装置の微調整作業が不要です。

◆発売日 2012年8月1日

◆希望小売価格【国内】完成品(消費税込)

● MEB-3810#00AZZ	電子鳩目穴かがりミシン/針糸切り仕様	2,058,000円
● MEB-3810#00AA1	電子鳩目穴かがりミシン/針糸切り仕様/針糸クランプ付き	2,105,250円
● MEB-3810#01AZZ	電子鳩目穴かがりミシン/総合切り仕様	2,152,500円
● MEB-3810#01AA1	電子鳩目穴かがりミシン/総合切り仕様/針糸クランプ付き	2,199,750円

■当リリースに関する問合せ先

JUKI株式会社 縫製機器ユニット 営業推進部	藤井 伸之	TEL:042-357-2254
JUKI株式会社 総務部 広報・IRグループ	林 桐子	TEL:042-357-2398